

2022年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

三機工業株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、三機工業株式会社（代表取締役社長：石田 博一）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の三機工業株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「顧客に対する誠実さ」、「サステナビリティマネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において大変優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① グループ自らの温室効果ガス排出量（Scope1, 2）を2030年までに、サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量（Scope1, 2, 3）を2050年までに実質ゼロとする「カーボンニュートラル宣言」を2022年2月に公表し、サプライチェーンも含めた温室効果ガス排出量の把握と削減に向けた取り組みを加速している点
- ② 品質方針を策定し、品質・安全性の向上と製品の安定供給のための目標を設定されている点、また、具体的な取組みとして全社的な安全・品質大会と安全パトロールを継続的に実施するほか、2021年10月に気候変動リスク分科会を新たに設置し、気候変動も含めた統合的なリスク管理を実施している点
- ③ 2022年2月にサステナビリティ方針を定め、特定した5つのマテリアリティを考慮しながら、サステナブル経営の実現に向けて取り組むべき施策を中期経営計画“Century 2025” Phase3に反映、推進しておられる点。また、グループの人権方針を新たに策定し、サプライチェーンにおける人権リスクをモニタリングする体制を整備し始めている点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「目標13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上